

5. 主な内容

・特別講演

テーマ 地域で生きる～生活行為向上マネジメントを通じた作業療法士の挑戦～
村井 千賀 氏 (石川県立高松病院 作業療法士)

・一般公開講座

テーマ 最後まで我が家で暮らしたいを可能にするために～その人らしさを支えながら～
基調講演 荒川 光昭 氏 (大蔵村診療所所長 医師)

シンポジウム

座長 松木 信 氏 (山形県作業療法士会会長)
シンポジスト 藤橋 佳代子 氏 (村山市社会福祉協議会 介護支援専門員)
真木 律子 氏 (北村山公立病院 作業療法士)
佐藤 健一 氏 (鶴岡地区医師会在宅サービスセンター 作業療法士)
村山 真理子 氏 (寒河江市役所 包括支援係 作業療法士)

- ・機器展示 4社の展示を予定しています。
- ・演題発表 口述、ポスター発表 27題を予定しています。

6. 日程

5月17日(土)	内容	5月18日(日)	内容
11:00～	受付開始	8:30～	受付開始
12:00～	開会式	9:00～9:30	演題発表
12:30～13:10	演題発表	9:30～9:40	機器展示発表
13:10～13:20	機器展示発表	10:00～12:00	公開講座(荒川光昭氏)
13:30～15:00	特別講座(村井千賀氏)		シンポジウム
15:10～16:30	県士会総会	12:10～12:30	閉会式
16:40～17:10	演題発表		
18:30～	懇親会(東根温泉 嵐湯)		

7. 宿泊

宿泊はご用意しておりませんので、各自で手配をお願い致します。

(会場周辺の宿泊施設)

ホテルイーストプラザ東根：〒999-3702 東根市さくらんぼ駅前2丁目1-25 TEL:0237-43-0026

さくらんぼ東根温泉：さくらんぼ東根駅より車5～10分

8. 懇親会

1日目終了後に、懇親会を準備しております。県士会会員が一堂に集まる機会です。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会場 さくらんぼ東根温泉 たびやかた嵐湯

〒999-3702 山形県東根温泉町1丁目9-22 TEL 0237-42-0054

会費 5,000円

9. 申し込み締め切り

今回の県学会申し込みは、山形県作業療法士会ホームページからの事前申し込みとなります。
別紙の「第22回山形県作業療法学会申し込みについてのお知らせ」をご参照いただき、
申し込みフォームに必要事項を入力し、平成26年4月18日(金)までお申し込み下さい。
ご協力お願いいたします。

また、ホームページより申し込み出来ない場合は、同封しているFAX用紙でお申し込み下さい。

10. 学会に関するお問合せ先

第22回山形県作業療法学会事務局 伊藤麻子

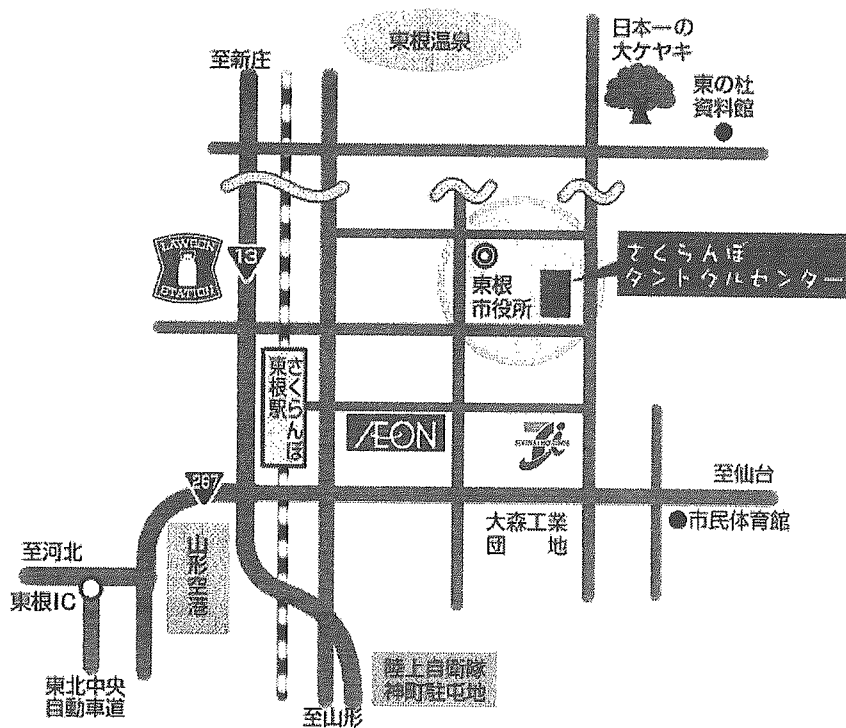
〒999-3792 山形県東根市温泉町2-15-1 北村山公立病院 機能回復訓練室

TEL 0237-42-2111 FAX 0237-43-6169

電子メールアドレス：rihabiri@hosp-kitamurayama.jp

11. 会場案内図

JR奥羽本線さくらんぼ東根駅より車で5分・徒歩15分です。



第 22 回 山形県作業療法学会演題

- ・経口摂取を希望する ALS 患者に対して行ったチームアプローチの報告
 医療法人徳洲会 山形徳洲会病院 遠藤 美佳
- ・安定した座位を目指して
 ～トイレの使用が可能となった症例を通して～
 済生会 介護老人保健施設フローラさいせい 佐藤 健一
- ・長期的機能回復に合わせ退院支援の検討を行った症例
 公立高畠病院 清野 艶香
- ・退院後の生活への不安軽減を目指して
 ～調理動作における「出来る」の気付きから～
 三友堂リハビリテーションセンター 高橋 聡恵
- ・福祉用具専門相談員が在宅生活支援で感じている不安の把握
 在宅リハビリ看護ステーション つばさ 川田 智尋
- ・認知症高齢者とその家族も支える
 ～地域医療である認知症デイケアの役割～
 米沢駅前クリニック 重度認知症デイケア はつらつ 情野 大基
- ・高齢の統合失調症利用者の再燃と回復へ添う作業療法の経過より
 ～衰えはあっても本人らしさに寄り添う作業療法の経過について～
 二本松会 上山病院 佐藤 知生
- ・目標を持つことの大切さ
 ～アウトリーチ事業での訪問から～
 公徳会 佐藤病院 鈴木 真
- ・閉じ込め症候群を呈した症例に対する、作業療法アプローチ
 ～コミュニケーション手段の獲得を目指して～
 至誠堂総合病院 稲毛 綾奈
- ・頸椎症性脊髄症者のつまみ力調節能
 ～手指痙縮と巧緻性動作との関連～
 公立置賜総合病院 鈴木 由美
- ・ホルター型心電図を用いた覚醒時と睡眠時の心拍変動の比較
 山形県立保健医療大学 佐藤 寿晃
- ・自信を喪失した腰椎化膿性脊椎炎の症例への目標共有に対する取り組み
 ～生活行為向上マネジメントを活用して～
 済生会 山形済生病院 菅野 良子
- ・胸郭可動性向上を目的にアプローチし疼痛が軽減した肩関節周囲炎の一症例
 医療法人徳洲会 山形徳洲会病院 東田 暁尋
- ・腱板断裂による疼痛
 ～患者様の生活を知ることの大切さ～
 篠田好生会 篠田総合病院 五十嵐 真也

- ・関節リウマチ患者を想定しての調理実習
 ～副木の利用の有無による学習効果の違い～

山形医療技術専門学校 武田 祐児
- ・手工芸を用いて意欲向上に結びついた症例
 ～外来リハビリテーションを通じた在宅生活への介入～

医療法人徳洲会 新庄徳洲会病院 寒河江 春樹
- ・集団レクリエーションを通して精神機能面の改善がみられた症例
 湯田川温泉リハビリテーション病院 志田 友美
- ・孫に箸の使い方を教えた
 ～生活歴を重視した関わりが箸操作の遂行度向上と主体的な生活動作の獲得に結びついた症例～

山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 大川 陽平
- ・見当識障害による不安感の軽減に向けて
 ～通所者同士の関わりに介入して～

山形さくら町病院認知症ディケア 悠ゆう 佐藤 啓一郎
- ・食の改善を通して今後の生活に HOPE を持つに至った例
 ～物品操作能力に着目して～

山形ロイヤル病院 藤原 秀平
- ・ご飯を食べたい
 ～姿勢と環境設定に着目して～

山形ロイヤル病院 阿部 和也
- ・多発性脳梗塞患者の、使える手を目指した下肢・体幹支持機能の促通
 北村山公立病院 松田 耕史
- ・連携を図り統一化した関わりを通じて“しているADL”の拡大を図った症例
 篠田好生会 篠田総合病院 大木 智志
- ・12日間で麻痺手の使用が増えた症例
 ～回復期でのCI療法～

鶴岡協立リハビリテーション病院 川瀬 英美
- ・「買い物がしたい」
 ～生活行為向上マネジメントを用い、ヘルパーの支援を受け実現できた事例～

朝日町立病院 清野 敏秀
- ・趣味活動を通じた主体的な生活の支援
 ～生活行為向上マネジメントを活用して～

介護老人保健施設 新庄薬師園 三原 裕子
- ・大腿骨近位部骨折後の術後認知機能障害が日常生活に与える影響について
 ～当院回復期リハビリテーション病棟の実績から～

鶴岡協立リハビリテーション病院 佐藤 浩